

VERIFICATION STATEMENT

Statement No.: PRJN-495037

Page 1 of 2
initiate reporting of

大王製紙株式会社

< 検証の目的 >

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は、大王製紙株式会社（以下、組織）より、組織及びグループ会社の GHG（温室効果ガス）スコープ 3 排出量の算定結果（以下、GHG スコープ 3 排出量）に関して、第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する GHG スコープ 3 排出量の主張に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

< 検証の範囲 >

検証の範囲は、2021 年度の組織及びグループ会社（海外拠点を含む）の GHG スコープ 3 排出量のうち、カテゴリ 1、2、3、4、5、6、7、9、12 である。

< 算定・検証基準 >

検証対象である GHG スコープ 3 排出量の特定・計算・監視・報告の基準は、組織の定める算定報告手順である。検証の基準は、ISO 14064-3:2019 に加えて、組織の定める算定報告手順で要求される基準を含む。

< 検証プロセスと方法論 >

上記検証基準への適合性は非財務情報算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

< 検証声明 >

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、組織の GHG スコープ 3 排出量の主張に関して、組織及びグループ会社の環境データを適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。

場所・日時：日本・神戸、2023 年 4 月 7 日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

The verification has been performed
under the supervision of:



Tsuyoshi Katori, Lead Verifier

The technical review has been performed
under the supervision of:



Koichiro Tanabe, Technical Reviewer

Independent Validation Verification Body:
DNV Business Assurance Japan K.K.



Naoki Maeda, Managing Director

VERIFICATION STATEMENT

Statement No.: PRJN-495037

Page 2 of 2

< 算定の対象期間 >

2021 年度 GHG スコープ 3 排出量の対象期間は、2021 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日である。

※エリエール・インターナショナル・コリアのみ、対象期間を 2021 年 1 月 1 日より 2021 年 12 月 31 日とする。

< 組織境界 >

支配力基準 出資比率基準 その他の基準

< GHG データの算定 >

DNV の検証意見として GHG データは、現実性・透明性・測定可能性があるものである。

■ 検証された GHG

CO₂ CH₄ N₂O HFCs PFCs SF₆ NF₃

■ 検証された GHG スコープ 3 排出量

1,781,912 tCO₂e

スコープ 3 カテゴリ毎の排出量

カテゴリ 1: 購入した製品・サービス	682,935 t-CO ₂ e
カテゴリ 2: 資本財	165,658 t-CO ₂ e
カテゴリ 3: Scope 1、2 に含まれない燃料及びエネルギー活動	319,515 t-CO ₂ e
カテゴリ 4: 輸送、配送（上流）	313,071 t-CO ₂ e
カテゴリ 5: 事業から出る廃棄物	25,553 t-CO ₂ e
カテゴリ 6: 出張	1,679 t-CO ₂ e
カテゴリ 7: 雇用者の通勤	6,076 t-CO ₂ e
カテゴリ 9: 輸送、配送（下流）	91,032 t-CO ₂ e
カテゴリ 12: 販売した製品の廃棄	176,393 t-CO ₂ e

※各カテゴリの対象範囲は、組織及びグループ会社（連結子会社のうち最大 35 社）

上記の排出量はすべて検証済みである。

< 検証意見 >

無限定適正

限定適正

意見差し控え

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。